



次世代の学びを育む新たな挑戦

～京都府立医科大学附属図書館にて、東山高等学校の生徒が“大学レベル”の文献検索を体験～

2025年10月17日
京都府立医科大学

—「広小路キャンパス活性化プロジェクト」×「高大連携」の実践現場—

京都府立医科大学附属図書館では、「広小路キャンパス活性化プロジェクト」の一環として、地域と大学が連携する新たな教育モデルの構築に取り組んでいます。今回、次世代を担う高校生が大学の学びに直接触れる機会として、東山高等学校の生徒を対象に、大学レベルの文献検索や論文リサーチ手法を学ぶ特別授業を実施いたしますのでお知らせいたします。

【今回のポイント】

● 新たな学びの拠点「ラーニングコモンズ Koto Square」完成！

2025年4月、京都府立医科大学附属図書館内に誕生した「ラーニングコモンズ Koto Square」は、学生同士の協働学習やICTを活用した学修支援を促進する、アクティブ・ラーニングのための最新空間。静かに読むだけの図書館から、共に学び、発信する場へと生まれ変わりました。

● 東山高等学校の生徒が大学レベルの“知の技法”に挑戦！

東山高等学校の生徒が附属図書館を訪れ、大学生が日常的に行う「学術論文や文献検索」の手法を実践的に学習。高校では触れる機会の少ない「学術情報リテラシー」を体験できる、極めて貴重な学びの場となっています。

● 地域に開かれた附属図書館として、次なる一歩へ

6月には京都女子高等学校の生徒にも同様の特別授業を実施するなど、地域の教育機関との連携が着実に広がりつつあります。大学の学びを地域に還元する、「地域に開かれた図書館」の新しいあり方を模索する取り組みです。



● 探究・進路のヒントを提供

大学進学や探究活動に興味を持つ高校生に対し、大学レベルの学習環境に触れることで、将来の学びや進路へのイメージを深めることを目指します。「自ら調べ、考える力」を育むヒントが、ここにあります。

【取組の背景】

● 支援の力で実現した「Koto Square」

この新たな教育研究交流空間「Koto Square」は、多くの方々のご支援によるクラウドファンディングを通じて実現しました。学内外の学びをつなぐ交流拠点として、広小路キャンパスの象徴的存在となりつつあります。



【今後の展望】

● 高大連携の継続と深化へ

本取り組みを契機に、今後も京都府内外の高校との連携を積極的に進めてまいります。高校と大学が学びを共有し、地域全体で次世代の教育を支える、新たなモデル構築を目指します。



広小路キャンパス活性化
プロジェクト
HIROKOJI CAMPUS ACTIVATION PROJECT

1 実施概要

- (1)日時：2025 年 10 月 25 日（土）14:00～15:30（90 分間）
- (2)場所：ラーニングコモンズ「Koto Square」を含む本学附属図書館内
- (3)目的：論文や文献調査の手法についての授業と館内資料の活用
- (4)参加者：東山高等学校<ヒト>の科学ゼミナール所属の生徒 9 名（1 年生 6 名・2 年生 3 名）
- (5)引率者：澤田寛成（東山高等学校 教諭）、河田光博（京都府立医科大学 名誉教授）

参 考

<京都府立医科大学広小路キャンパス活性化プロジェクト>

プロジェクトの概要	優秀な医師、看護師、研究者を育成するなど附属図書館、看護学学舎がある広小路キャンパスの活性化を図る取り組み
活動期間	2023 年 7 月～2026 年 3 月（予定）

■プロジェクトこれまでの主な取組

- 2025 年 4 月、新しい教育研究交流施設としてラーニングコモンズ「Koto Square」をオープン。図書館ホールと連携して、学生、研究者等が活用中。
- 2023 年 8 月、電動キックボード等シェアリングサービスの常設ボード（10 台）を設置。京都府内の大学初の取組です。
- 学生証 IC カード化による図書館利用証の統合。2024 年 5 月から大学構成員は、図書館利用申し込みなく利用が可能になりました。
- キッチンカーの導入。患者、学生等のアメニティー向上を図り 2023 年 12 月から広小路、河原町ともに配置。学生には割引制度で提供。
- 学生等の憩い、学習できるスペースの創出として、2023 年 10 月に屋外にテーブル・ベンチを配置。キッチンカーの食事にも学生等が利用中。
- 看護学学舎地階学生ホールのアメニティー向上として、壁塗り替え等を 2024 年 3 月に実施、ハイカウンター席及びビッグテーブルを新設。休み時間には学生で満員で好評。
- プロジェクト専用ホームページ「京都広小路通信」(<https://hirokojipj.kpu-m.ac.jp/>)を 2024 年 3 月に新設。様々な人にインタビューし、X、Facebook 等 SNS で発信。

取材に関する問合せ先

京都府立医科大学附属図書館

電話 075-212-5400 FAX 075-212-5405

E-mail library@koto.kpu-m.ac.jp

Q&A よくある質問

- Q. どこにあるの? A. 附属図書館1Fにあります。
- Q. 席数は? A. フロア全体で約200席あります。
- Q. 利用できる時間は? A. 附属図書館の開館時間と同じです。
平日9:00～21:00、土日曜10:00～18:00です。(祝・年末年始は休館)
- Q. 飲食はできますか? A. 1階のラーニングコモンズは飲食できます。
ただし、2階と地下は条件付きで飲用のみできます。
- Q. Wi-Fiは使えますか? A. 学内の方は、大学のWi-Fiが利用できます。
- Q. 各種機材を借りることはできますか? A. ノートパソコン、プロジェクターを借りることができます。
- Q. 学外の人も利用できますか? A. 地域に開かれた施設として、学外の方も利用いただけます。
(一部サービスに制限あり)
- Q. Koto Square(コトスクエア)の由来は? A. 「Koto」には、京都の「古都」、知識伝達の「言」、実践学習の「事」、
人々の共鳴を表す「琴」の4つの意味が込められています。
このラーニングコモンズが新しい学びと交流の広場となるように
願いを込めて命名されました。

Koto Square が目指す未来

未来の医療を支える人材を育成し、更なる地域医療の質の向上を目指してまいります。

私たちのラーニングコモンズは、医療を支える人材と地域の未来を育む温かな空間です。ここでは学生や医療従事者が知恵を分かち合い、夢と情熱を育み、地域社会との絆を紡いでいきます。この施設は医療の未来への希望の架け橋。皆様のご支援により生まれたこの場所が、地域医療の明るい未来を照らす光となることを、心より願っています。

もっと詳しく知りたい方へ

●京都府立医科大学附属図書館 公式サイト
<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>



●京都府立医科大学広小路キャンパス
活性化プロジェクト
公式サイト「京都広小路通信」
<https://hirokojipj.kpu-m.ac.jp/>



令和7年6月



京都府立医科大学附属図書館 Tel.075-212-5400
〒602-0857 京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410



広小路キャンパス活性化
プロジェクト
HIROKOJI CAMPUS ACTIVATION PROJECT

医療の未来を紡ぐ 学びと出会いの新空間

コトスクエア Koto Square



What is Learning Commons?

ラーニングコモンズとは

学生や研究者などが自由に交流し、共に学べる空間

フレキシブルでオープンなこのスペースは、個別学習やグループワーク、デジタルツールを活用した協同作業など、医学・医療の学びと交流をサポートします。
知識の習得だけでなく、協働力やコミュニケーション能力も育てられる場所です。



How to use Learning Commons



グループ活動

ミーティングやディスカッション、試験対策の勉強会に



交流の場

学会・研究会の分科会や交流会、研修会、ランチョンセミナーに



資料作成・発表準備

レポートの作成、プレゼン練習に



リラクセススペース

息抜きや食事をとりながらの休憩に



オンライン活動

Web会議やオンライン講座の受講・開催に

アクティブエリア

オレンジ・レモン・ライム・モスの4色ゾーン
みんなで話し合える自由な空間

移動できる机・椅子で目的に合わせたレイアウト
変更が可能。可動式ホワイトボードやモニターに
加え、大型スクリーン・壁面ホワイトボード・天吊り
プロジェクターを完備して、プレゼンにぴっ
たりの環境です。



こんな使い方が
オススメ!

- グループ課題
- 国家試験の勉強会
- ポスターセッション
- 研究やクラブのミーティング



リラックスエリア

ほっと一息つける癒しと交流の空間

ソファ席や大きなビーズクッションを備えたスベ
ース。学習や研究の合間にリフレッシュしながら、
新しいアイデアが生まれるかもしれません。

- 休憩時間のリフレッシュ
- 友達とのおしゃべり
- カジュアルなミーティング



Koto Square

コト スクエア
フロアマップ



ブレイクエリア

グループで語らいながら利用する空間
ファミレス風のくつろげるボックス席やスタイリ
ッシュなハイカウンター、そして自由に形を変え
られるビッグテーブル席があり、アイデアを共有
する場として最適です。

こんな使い方が
オススメ!

- 研究や学習の情報交換
- アイデア出しや打ち合わせ
- ブレインストーミング



附属図書館
1F入り口
▼

ソロエリア

集中力を高める個人空間

リラックスできる広めの背もたれ付きチェアや半
個室のブース席など、1人用の快適な個別席を
用意。PCやタブレットを使った学習にも。

こんな使い方が
オススメ!

- 試験勉強
- レポート作成
- オンライン講座の受講
- 専門書を使った調査



学びをサポートするツールたち

京都ならではの大切にしながら、快適で便利な機能を揃えています。



可動式の机・椅子

動かせる机と椅子でレイ
アウト自由。少人数から大人
数までアイデア次第で自在
に利用できます。



天吊りプロジェクター他

大きな180型スクリーンと壁
面ホワイトボードに投影可能
な2台のプロジェクターを完
備。連動投影にも対応で、ど
こからでも見やすく。ワイヤ
レススピーカー2台も使用可能。



ビッグテーブル「Baum ring」

京都府内産の桧を使った、
繋げたり分けたり組み替え
自由なテーブル。丸く並べ
ると木の年輪のような形に。



ハイカウンター席

カフェ気分で使えるスタイ
リッシュな6席。気分を変え
て1人でも作業できる空間
です。



ダイナー席

6人まで座れるファミレス
風のブース席が5つ。京都
府内産の杉の無垢材を使っ
た温もりあるテーブルです。



畳ベンチ

リフレッシュしたいときに
ほっと一息つける和のスペ
ース。



コミュニケーションカウンター

京都府内産の杉の美しい木
目が特徴の、全長4メートル
のカウンター。交流や受付
の場として活躍します。



半個室ブース

1人用の半個室のブースが
3つ。WEB会議や集中する
作業におすすめです。